

国際微生物学連合

International Union of Microbiological Societies
(IUMS)

概要

2021年10月
IUMS分科会

国際微生物学連合 (IUMS)

設立

1927年にthe international Society for Microbiologyとして設立。
その後、いくつかの組織改変を経て、1982年にthe international Union of Microbiological Societiesと改称。

メンバー

微生物学の活動を行い、毎年学術会議を行う団体で構成される。
63の国・地域から86団体が加盟。

目的

微生物学の研究を推進する。国連、ユネスコ、WHOなどと連携した研究の促進。国際的に研究成果を発信。国際的な会議、シンポジウムの開催とその成果の発信を促進。

組織

International Science Council のメンバー。
細菌学と応用微生物学(Bacteriology and Applied Microbiology)、菌学と真核細胞微生物学(Mycology and Eukaryotic Microbiology)、ウイルス学(Virology)の3部門で構成。

国際微生物学連合 (IUMS)

事業

国際会議 International Virology Congress、International Congress of Bacteriology, Applied Microbiology & Congress of Mycology and Eukaryotic Microbiology を3年毎に開催してきた。今後は2年毎に開催予定。

研究成果の成果の出版 International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology, International Journal of Food Microbiology, World Journal of Microbiology and Bacteriology, Mycopathologia をIUMS公式雑誌として刊行。

社会的貢献

微生物学や感染症・公衆衛生の研究の促進と研究者間のコミュニケーションを通じて、人類の健康の増進と環境の福祉に貢献している。

具体例1: 提言の発出

生物兵器利用に対する警鐘を2004年に発信。

具体例2: 感染症に関する最新知見の発信

コロナウイルスに関するシンポジウムを昨年の国際会議で企画開催。

国際微生物学連合 (IUMS)

最近の役員の就任

- 2008~2011 永井美之氏 (理化学研究所) (20期連携会員): 副理事長
- 2011~2014 河岡義裕氏 (東大教授) (22~23期連携会員、24~25期会員): ウイルス部門理事
- 2011 野本明男氏 (東大教授) (20~21期会員): IUMS国際会議主催団体代表
- 2011 富田房男氏 (北大名誉教授) (21~22期連携会員): IUMS国際会議国際組織委員長
- 2011~2014 富田房男氏 (北大名誉教授) (21~22期連携会員): Ambassador
- 2015~2017 鎌形洋一氏 (産総研研究戦略部長) (第23期連携会員): 理事
- 2017-2022 中川一路氏 (京都大学教授) (第24期連携会員): 理事

財政的貢献

IUMSの分担金を拠出。

国際会議への貢献

2011年に、IUMS国際会議を札幌で開催。

IUMS国際会議に、毎回おおよそ200名の日本人科学者が参加して、多くがシンポジウムやセッションの企画、座長、招待講演者として貢献している。